

令和5年度講演会実施報告

令和5年7月24日（月）～8月7日（月）にかけて、令和5年度ポラリス講演会をオンデマンド配信にて実施しました。

講師に神奈川県立保健福祉大学名誉教授、東京通信大学名誉教授の松為信雄先生をお招きし、『発達障害のある人の就労とその支援』をテーマにご講演頂きました。松為先生は職業リハビリテーション（カウンセリング）がご専門で、発達障害者はもちろん、その他の障害者のキャリア教育と就労支援についても長年にわたり研究をされています。

ご講演では、「自立とキャリア」、「雇用・就業に向けた学び」、「学校・家庭での指導」、「発達障害の特性と支援の在り方」、「雇用管理の視点と方法」についてお話を頂きました。

ご講演の中で、働くことの意義をしっかりとおさえ、学齢期での職業準備性の育成について提起していただき、自己理解と肯定感を高める指導、自己決定が出来る指導、家庭支援の重要性について分かりやすく解説をしていただきました。また、発達障害の特性と支援の在り方については、発達障害者が職業生活を実施していく上での課題として、障害認知や自己理解の不十分さ、就職活動や職業生活に関する知識・スキル不足、作業遂行能力、対人関係、コミュニケーション力の弱さ、ストレスや疲労への対処力、二次被害のリスクについて、発達障害の特性を踏まえながらお話をいただきました。そして、職場定着を図っていくためには、本人に応じたキャリア形成を実施していくことの重要性についてお話をいただきました。

ご視聴下さった方々へのアンケートからは『幼児期から青年期の方の支援をしてきたが、将来的な就労にむけた支援方法について広くご説明を頂き非常に役に立った』、『発達障害児者の就労支援のポイントがよく分かった』等のご感想をいただきました。

今回の講演は幼児期から成人期まで、発達障害のある人にかかわる全ての人にとって良い学びの機会となりました。

和歌山県発達障害者支援センターポラリス